

2050年担い手塾 中学・高校教員向け スタディーツアー IN 奥矢作森林塾

4/25 (土)

時間：10：30～18：30 (現地集合・解散の場合)

場所：奥矢作森林塾 岐阜県恵那市串原1149番地2

参加費：2500円(交通費別。昼食代込。)

定員：20名前後

申込締切：4/15 (水)

*当日、名古屋より送迎バスの運行を検討中。ご連絡ください!

森に、川に、地域に、
オモシロイ授業の
ヒントが盛りだくさん!

だから…

こんな先生に来て欲しい!

- 生徒と同じ気持ちになって何かを探求してみたい先生
- 教科指導をとびこえて、トクベツな授業を作りたい先生
- 「いい大学へ、いい会社へ」が通用しなくなった

今の時代にあったキャリア教育がしたい先生

「木は植えた方がよいのですか、それとも伐った方がよいのですか？」
生徒から質問された時に答えられますか？

現在の日本においては、半世紀前ほどに植えられたスギやヒノキなどの
人工林の間伐が遅れて、森林が荒廃しています。そのために水害が発生す
ることも懸念されています。

環境問題は一筋縄では理解も解決もできません。ぜひフィールドで見て
体験して考えてみてください。(名古屋大学大学院環境学研究科 高野雅夫准教授)

主催：NPO法人地域の未来・志援センター

監修：名古屋大学大学院環境学研究科 高野雅夫准教授

協力：NPO法人愛・地球子どもクラブ/NPO法人アスクネット(ASK-NET)/NPO法人
森と水辺の技術研究会/名古屋大学大学院環境学研究科 地球環境システム学講座(順不同)



* NPO法人地域の未来・志援センターは、セブンイレブンみどりの基金の協力を得て運営しています。



トクベツな授業は、トクベツな体験から生まれる。

応募フォーム

件名を「2050年担い手塾スタディーツアー(4/25)応募」として、下記の参加申し込みフォームに必要事項をご記入の上、E-mail・FAXまたは郵送にて志援センター事務局までお申し込みください。

【参加申し込みフォーム】

- ①参加者氏名(ふりがな)：
- ②学校名・役職：
- ③担当学年・担当クラスの特徴(普通科など)・部活：
- ④学校以外の所属(ボランティアグループ等)：
- ⑤連絡先(PCメール・携帯電話)
- ⑥住所
- ⑦受講の動機
- ⑧講座を知ったきっかけ

お申し込み・お問い合わせ

NPO法人地域の未来・志援センター

担当：都筑

〒460-0014

名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2F

TEL：052-331-6141

FAX：052-339-5651

E-mail：office@c-mirai.org

URL：http://www.c-mirai.org/

スタディーツアー 当日スケジュール(予定)

- 10:30 現地集合
- 11:00 間伐体験 ～人工林のお話～
- 13:30 昼食 ～炭焼きのお話～
- 14:30 原生林のトレッキング ～森の豊かさとは～
- 17:30 振り返り
- 18:30 解散

*名古屋からの送迎バスを検討しています。ご相談ください。

会場：奥矢作レクリエーションセンター

住所：〒509-7814

岐阜県恵那市串原

1149-2

運営：奥矢作森林塾

tel&fax：

0573-52-2411



ゲスト講師：杉野賢治(奥矢作森林塾)

水源地における森林再生を志し、矢作湖畔でNPO奥矢作森林塾の一員として、矢作川上流で活動している。山仕事と炭焼きを生業とし、広く一般の人に、山の楽しさ、素晴らしさ、厳しさを伝えている。

中学・高校生向けESD講座「2050年担い手塾」とは

自然と親しむ機会の少ない今の中学生・高校生。でも2050年の社会を担うのは彼らの世代です。フィールドワークやワークショップを使いながら、彼らが生物多様性・環境を、教科書の中の世界ではなく、「自分ごと」として意識して、持続可能な社会について考える機会を提供しています。

実績紹介

- 2007年 延べ 69名参加
 - 第1講座 セヴァン・スズキの伝説のスピーチに学ぶ
 - 第2講座 『成長の限界』に学ぶ
 - 第3講座 『世界がもし100人の村だったら』に学ぶ
 - 第4講座 一人一人のテーマについて考えよう
- 2008年 延べ 74名参加
 - 山の合宿 マイクロ水力発電
 - 海の合宿 生物多様性と人間の暮らし
 - 第1講座 人と人・人と自然のコミュニケーション
～干潟でいきものたちとおしゃべり?!～
 - 第2講座 生物多様性と持続可能性
～"お弁当"から考える生き物とのつながり～
 - 第3講座 人間の暮らしの多様性 ～隣で暮らす外国人の子供達～
 - 第4講座 地域のテーマと自分のテーマ ～木の声を聞こう。～

講師紹介

高野雅夫(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)

さまざまな分野の専門家と協働して地下資源が枯渇した千年後でもやっつけられるような地球と社会のシステムをつくりだすための「千年持続学」を構想中。

井上淳之典(寺子屋塾主催)

NPO法人地域の未来・志援センター副理事長。障害の有無・環境・条件等に左右されず、意志さえあれば誰もが学べる環境の実現(学びのバリアフリー)を目指す。

駒宮博男(NPO法人地球の未来理事長)

NPO法人地域の未来・志援センター副理事長、NPO法人ぎふNPOセンター理事、NPO法人岐阜大学環境技術研究会監事、名城大学大学院経営学研究科客員教授、持続可能社会構築のための研究と実践がミッション。

2009年前期(予定)

■ワークショップ IN 愛知サマーセミナー

7月18日(土) 12:30~16:20

「毎日の献立から、
生き物とのつながりを考えよう！」

■合宿 IN 奥矢作森林塾

8月4日~5日(火、水)

1日目：食-いのちをいただくということ

2日目：人の暮らしと自然~原生林と人工林~